「もったいない運動‘ワンス　モア’」推進要領

【市長の決意】

**　私たちは、高度経済成長時代に、消費が美徳とされ、使い捨て商品が流行したことにより、便利で豊かな生活を手に入れる一方で、大量生産、大量消費、大量廃棄という社会経済システムを生みだし地球環境全体に大きな負荷を与えてきました。**

**　私は、最近、昨年度ノーベル平和賞を受賞された、ケニア環境副大臣のワンガリ・マータイさんが「‘MOTTAINAI’という日本語を世界共通語として広めよう」と提唱されていることを聞き深く感銘しました。**

**　この「もったいない」と言う言葉は、単に「物」を大事にするだけでなく様々な命を大切にする心のほか、自然や人間を慈しむ心を育て、また平和教育にまでも深くつながっていくものだと考えております。**

**　私は、日本の精神文化である「もったいない」の心をその本来の精神に基づいて“もう一度”見つめ直し、行政を含め、市民一人ひとりが「もったいない」の精神で「もの」をもっと大切にするため、庁内の取り組みは勿論のこと、市民とのパートナーシップによる様々な取り組みを実施していきたいと考えております。**

**　「もの」それぞれの存在価値を１００％有効に活用するという精神を醸成する**“もったいない運動”**を市役所内外に広く展開し、“ひと・もの・しぜん”を大切にするまちづくりを推進していく決意をしたところです。職員各位のご協力を心から願うものであります。**

美しい地球を守り、次世代を担う子どもたちに「もったいない精神」を引き継いでいきましょう。

２００５．１１　　松戸市長　川　井　敏　久